

知的障害と発達障害の子どもたち



信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室
 附属病院子どものこころ診療部
 長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」
本田秀夫

長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」

長野県発達障がい情報・支援センター 動画ライブラリー



長野県発達障がい情報・支援センターのWebサイト内
 動画ライブラリーに今後も様々な動画が追加されます。
 ぜひご活用ください。

- 長野県が精神保健福祉センター内に設置・運営していた「長野県発達障がい者支援センター」を2023年度から信州大学医学部附属病院に委託
- 支援機能だけでなく情報発信機能を強化



長野県発達障がい情報・支援センター
 〒390-0802
 長野県松本市旭2丁目11-30 長野県松本市旭町管内
 電話：0263-37-2725（平日9時～16時）
 FAX：0263-37-3350
<http://naganoken-hattotai.info/>



2025年6月に
 AIチャット機能が
 追加されました！



子どもの色を、
 活かす子育て

周りの子と、自分の子を比べてしまって、
 不安になることはありませんか？
 子どもにはそれぞれの育ち方があります。
 のびのびトイロは、「個性に合わせた多様な子育て」を
 応援するアプリです。



運営チーム
 企画・開発・運用 ヘルスケアデザインチーム Colonb's
 月刊イクジまつもと
 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室
 コンテンツ提供 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室
 ご支援 一般財団法人YOKA

にじいろ子育てチャンネル

すべての子どもが、個性にベスト・フィットした
 楽しい環境で安心して成長できるよう、子育て
 と教育の文化を変えていきましょう！

「知らぬが仏」作戦
 児童精神科医が語る
 子育てのヒント

日本の子どもの「幸福度」(3分野)ランキング

分野 (順位)	指標
身体的健康 (1位 / 41位)	5歳～14歳の子どもの死亡率、5歳～19歳の過体重の割合
精神的幸福度 (32位 / 36位)	生活満足度が高い15歳の割合、15歳～19歳の自殺率
スキル (12位 / 41位)	数学・読解力で基礎的習熟度に達している15歳の割合、すぐに友だちができると答えた15歳の割合

※ユニセフ・イノチェンティ研究所「イノチェンティ レポートカード 19：予測できない世界における子どもたちのウェルビーイング」(2025)をもとに作成

(本田秀夫(著), フクチマミ(絵):発達障害・「グレーゾーン」の子の不登校大全, バトン社, 2025)

神経発達症群 (DSM-5-TR)

知的発達症群

知的発達症など

コミュニケーション症群

言語症, 語音症, 小児期発症流暢症(吃音), 社会的(語用論的)コミュニケーション症など

自閉スペクトラム症(ASD)

注意欠如多動症(ADHD)

限局性学習症(SLD)

運動症群

発達性協調運動症(DCD), 常同運動症など

チック症群

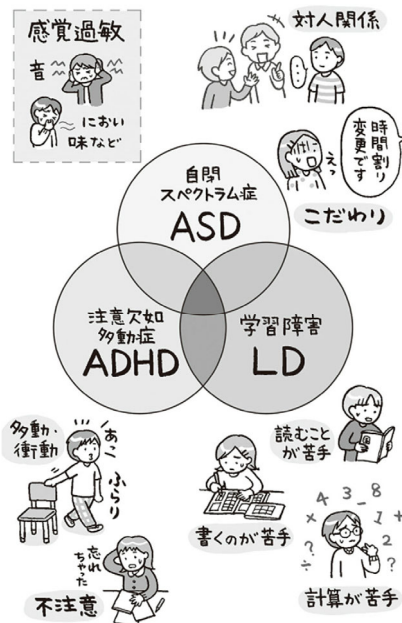
持続性(慢性)運動または音声チック症など

他の神経発達症群

法制度の「知的障害」

法制度の「発達障害」

主な発達障害: ASD, ADHD, LD



(本田秀夫(著), フクチマミ(絵):発達障害・「グレーゾーン」の子の不登校大全, バトン社, 2025)

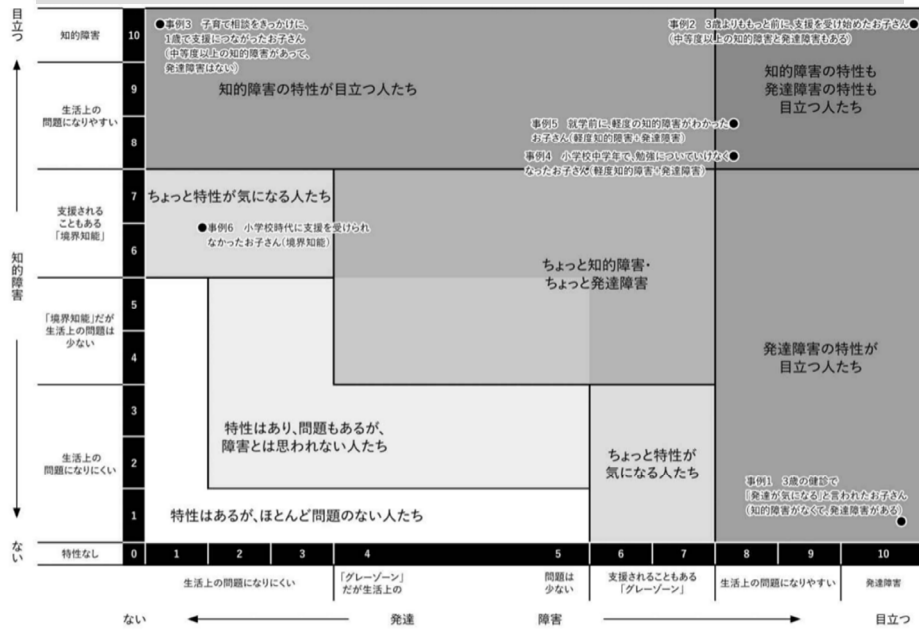
知的発達症

Intellectual Developmental Disorder

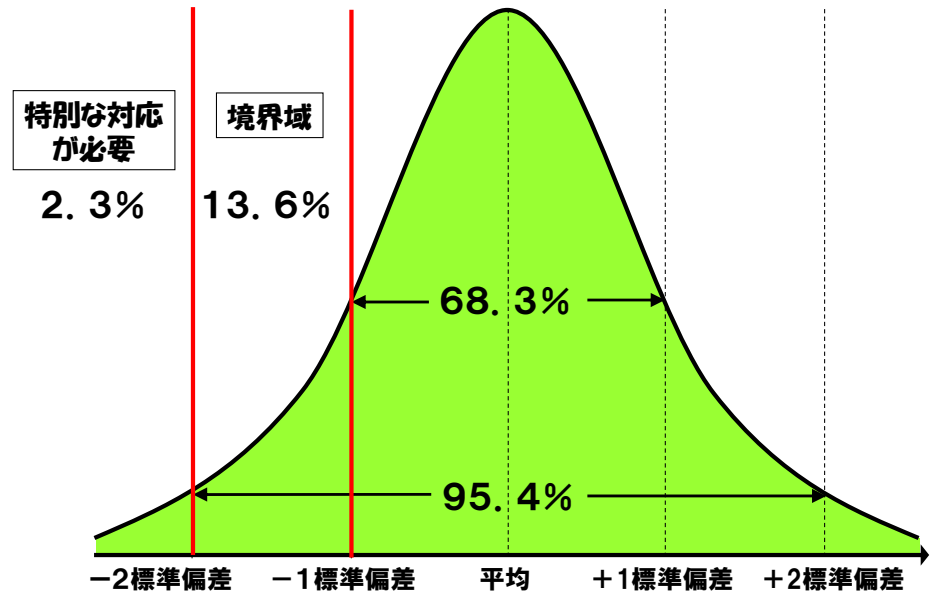
概念, 社会性, 実用性の領域における知的機能と適応機能の両方に欠陥がある。

- 論理的思考, 問題解決, 企画, 抽象的思考, 判断, 勉強, 経験学習などの知的機能の欠陥
- 個人の自立や社会的責任において発達の・社会文化的標準を満たさないほどの適応機能の欠陥
- 発達期の発症

知的障害と発達障害の関係



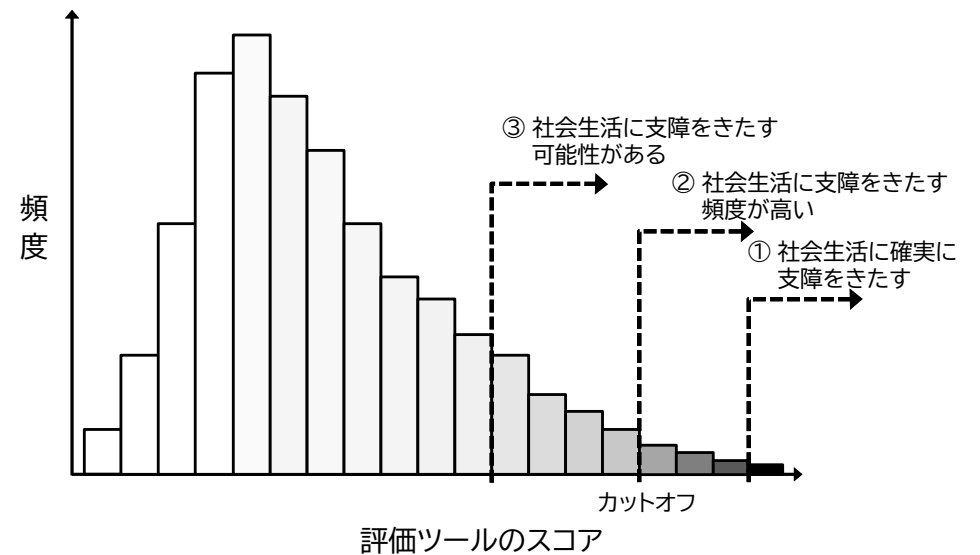
正規分布



境界知能は「障害」なのか？

- 国際診断システムにおいて、境界知能の人たちの多くは顕著な不適応を示すことなく社会生活を送ると想定されている
- ただし、心理的負荷や他の発達障害との重畳などによって多様な精神医学的問題を呈する可能性のあるハイリスク群であるとの認識がある

ASDの評価ツールにおける症状のカットオフと社会生活の支障との関係のイメージ



(62歳・男性／長野県)
本田秀夫

グレイとは
 白ではなくて
 薄い黒

義務教育段階児童生徒のうち特別な配慮を要する割合

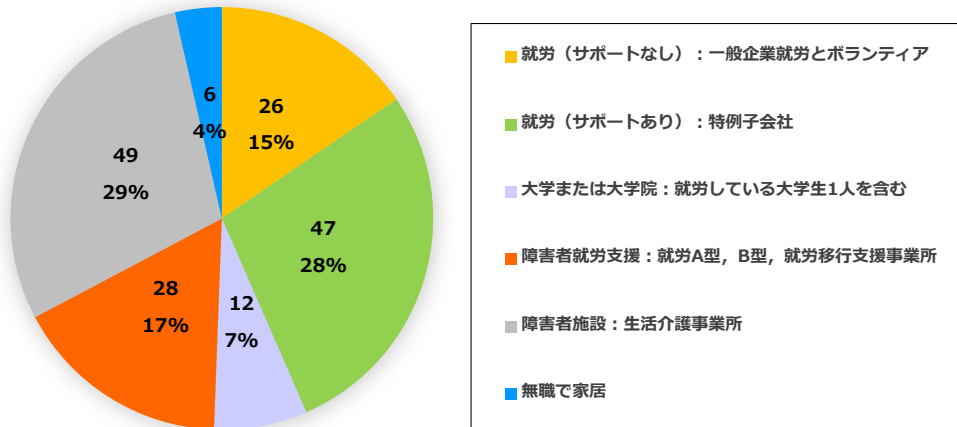
児童生徒の属性	割合 (%)
特別な配慮を要すると思われる児童生徒	13.0
特別支援教育を受ける児童生徒	6.3
特別支援学校	0.9
特別支援学級	3.7
通常の学級（通級による指導）	1.7
特別支援教育を受けていない児童生徒	*6.7

*文部科学省の複数の資料から演者が計算
 通常の学級に在籍：
 100（全児童生徒）
 -0.9（特別支援学校）
 -3.7（特別支援学級） = 95.4%
 うち、特別な配慮を要する：
 95.4 × 0.088 = 8.4%
 うち、通級による指導を受けていない：
 8.4 - 1.7 = 6.7%

（本田による試算）

社会参加（就労・高等教育）

(N=168)



※ 無職で家居の6人中4人は5歳時IQ>85で、義務教育期間中に特殊教育/特別支援教育を受けなかった。

(Iwasa et al: J Child Psychol Psychiatry, 2022)

ASD群とGP群の比較

■ 労働収入

ASDの有無は、労働収入200万円(※)未満であることに関連はなかった。
 (オッズ比:0.82、95%信頼区間: 0.44-1.50、p=0.515)。
 ※200万円の基準はワーキングプア(working poverty)の指標として設定。

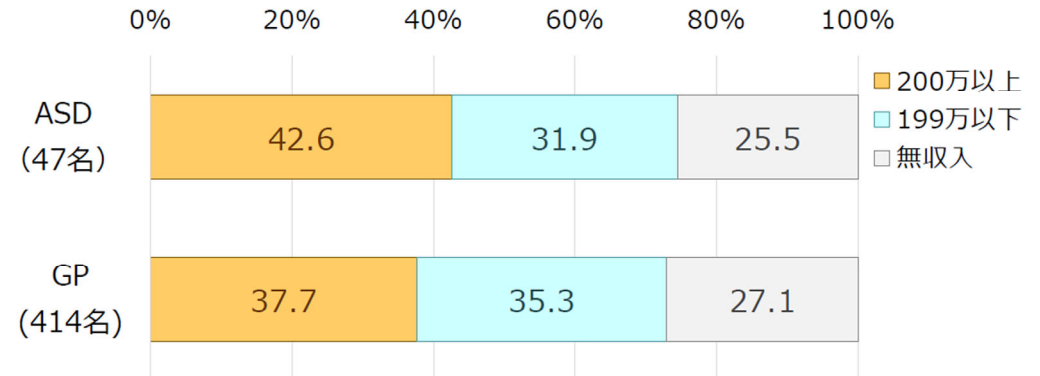


図1. 労働収入の内訳

(大月 他: 第65回日本児童青年精神医学会総会ポスター発表, 2024)

日常生活：一般人口との比較

平日	ASD (n = 165)	一般人口 (n = 139)
家事		
何らかの家事*	87(52.7%)	53(38.1%)
食事の管理*	71(43.0%)	30(21.6%)
掃除	29(17.6%)	27(19.4%)
衣類の手入れ	18(10.9%)	19(13.7%)
買い物	41(24.8%)	28(20.1%)
育児*	0(0%)	12(8.6%)
セルフケア		
睡眠	165(100%)	139(100%)
休憩*	106(64.2%)	20(14.4%)
入浴*	158(95.8%)	108(77.7%)
身支度	149(90.3%)	123(88.5%)
朝食*	144(87.3%)	89(64.0%)
昼食*	138(83.6%)	102(73.4%)
夕食*	162(98.2%)	115(82.7%)

*有意差あり 一般人口は、社会生活基本調査（総務省,2016）から得られたデータ
(Iwasa et al: J Child Psychol Psychiatry, 2022)

社会的活動への参加：一般人口との比較

日曜日	ASD (n = 163)	一般人口 (n = 263)	ASD (n = 163)	一般人口 (n = 263)
対人交流			娯楽・趣味	
何らかの対人交流	40(24.5%)	55(20.9%)	何らかの娯楽・趣味*	66(40.5%) 38(14.4%)
人と直接会う	15(9.2%)	30(11.4%)	娯楽	18(11.0%) 19(7.2%)
家族との談話*	28(17.2%)	12(4.6%)	創作*	25(15.3%) 13(4.9%)
その他*	5(3.1%)	24(9.1%)	趣味(収集)*	23(14.1%) X
スポーツ			その他	8(4.9%) 9(3.4%)
何らかの運動*	35(21.5%)	32(12.2%)	機器の利用	
有酸素運動*	28(17.2%)	16(6.1%)	何かしらの機器*	150(92.0%) 202(76.8%)
球技*	2(1.2%)	14(5.3%)	コンピューター*	92(56.4%) 59(22.4%)
水泳	6(3.7%)	X	ゲーム	53(32.5%) 65(24.7%)
その他	2(1.2%)	X	TV鑑賞	93(57.1%) 137(52.1%)
			その他	28(17.2%) 28(10.6%)

*有意差あり

一般人口は、社会生活基本調査（総務省,2016）から得られたデータ

(Iwasa et al: J Child Psychol Psychiatry, 2022)

薬物療法

向精神薬の処方	人数 (%)
処方歴あり (全体)	79 (47.0)
抗精神病薬	33 (19.6)
抗てんかん薬	24 (14.3)
睡眠導入薬	7 (4.2)
抗うつ薬	4 (2.4)
抗ADHD薬	4 (2.4)
調査時点で処方あり (全体)	45 (26.8)

(n = 168)

(Iwasa et al: J Child Psychol Psychiatry, 2022)

ASDの成人における不登校経験者の割合

横浜市における1988年～1996年生まれのASDコホートの追跡調査(Y-LABiCスタディ)では、

IQ ≥ 70 : 30.6%

IQ < 70 : 16.5%

(Iwasa et al: Journal of Child Psychology and Psychiatry, 2022)

小児期から成人期にかけての変化

知的障害

- 就学後に知能が大幅に上昇する症例は稀である

自閉スペクトラム症

- 対人行動の質的異常は、軽減するがゼロにはならない
- 興味の限局やこだわり行動は、対象や様式を変えながら持続する

注意欠如多動症

- 多動・衝動性は、軽減するがゼロにはならない
- 不注意症状は、青年期・成人期の方が問題となりやすい

発達障害本来の特性とそうでないもの

本来の特性

- 対人関係・コミュニケーション・活動のパターン化・こだわり・感覚の異常 (ASD)
- 多動・衝動・不注意 (ADHD)
- 読字・書字・計算 (SLD)
- 粗大運動・微細協調運動 (DCD)

本来の特性ではないもの

- 感情・情緒の変動
- 睡眠の異常

発達障害の「症状」は、 自然経過で悪化はしない

ほとんどの場合、悪化しているのは環境との相性

- クラス替え
- 部署の異動
- 担任・上司の交代
- 教育方針の変更
- 友人の態度の変化 など

成人期の発達障害:3通りのパターン

1. 特性に応じた育ち方をし情緒的に安定 :教育, 福祉
 - 診断されることもなく平均的な生活を営む
 - 学校卒業と同時に障害者雇用または福祉的就労
2. 逆境体験のため、情緒的に不安定 :医療, 司法, 若者サポート
 - 青年期までに精神科受診し、成人後も精神科通院
 - ときに犯罪、非行、ひきこもりなどの問題が出現
3. 就労後に課題が露見し、精神症状が出現 :労働, 医療, 福祉
 - 職場対応(休職, 異動), 離職, 転職が課題
 - 精神科受診が必要となる

「選好性 (preference)」からみた自閉スペクトラム

関心

特定の物に強い興味をもつ
(反面, それ以外の物にはほとんど興味がない)

やり方

特定の手順を繰り返すことにこだわる
常同的な動作を繰り返す

ペースの維持

他者にペースを乱されたくない

記憶力と想像力との乖離

記憶力

- 興味があることと体験したことは細部まで記憶して, 記憶が薄れにくい
- 逆境体験をとくに強く想起しやすい

想像力

- 他者の事情, 未体験のこと, これから起こりそうなことを想像することが苦手

感覚過敏がある

- 聴覚, 視覚, 嗅覚, 触覚, 味覚などのいずれかの感覚を鋭敏に感じ過ぎて, つらくなる場合がある
- 練習しても慣れないばかりか, より鋭敏になってしまうことの方が多い
- 可能な限り苦手な感覚刺激にさらされることのないよう, 環境を調整する

過剰適応

自分が置かれた環境に合わせようとして, 自分の考えや行動を合わせすぎてしまう状態。

ASDの人に見られやすい過剰適応:

- 猪突猛進 : 頑張り過ぎる
- 過剰なルール遵守 : 臨機応変な対応をしない
- 過剰な遠慮 : 正当な主張や要求をしない
- カモフラージュ : ASDの特性を隠そうとする

登園をいやがる5歳の女兒

ごっこ遊びが好きではないのに保育園でごっこ遊びに笑顔で参加していた。

- みんなもごっこ遊びは嫌いだけど、保育園ではごっこ遊びしなきゃいけない
- みんなも我慢してやっているから、私も我慢してやらなければいけない
- 笑顔は作り笑い

発達障害の人たちの対人関係：

「できない」より「疲れやすい」

- 対人関係は、一般の人の何倍も疲れる
- 楽しく過ごしても、後から疲れを感じる
- 大人でも、仕事はよくできるのに週5日働くと疲れが取れない人がいる

発達障害支援からみた義務教育の問題点

- 平均周辺7割向けのカリキュラム
平均的ではない子どもは、通常学級のカリキュラムになじみにくい
- 子ども自身による選択肢がほとんどない
- マイノリティの権利保障が不十分である

教育界にしばしばみられる「幻想」

どんな人でも、

時間をかけて繰り返し量をこなせば、

必ずできるようになる

文部科学省は学業不振に寛容で冷淡

- 得点のバラツキを前提とした入学試験制度
- 習熟していないのが当然の進級システム
- 行動の問題がなければクラス運営に支障はない
- 学業不振は本人と保護者の問題という認識

学業不振の背景

- 知的発達症・境界知能・(発達性)言語症
- 学習障害
- 学習機会の剥奪
 - マルトリートメント(ASDやADHDへの不適切な対応も含む), 不登校など

軽度知的発達症・境界知能の 人たちのメンタルヘルス問題

- 常に他の子どもたちよりわずかに遅れをとるため、自己評価が低い形で固定しやすい
- ASDまたはADHDを伴う場合、学業不振のみならず同世代のなかで孤立しやすい
- 親や教師は「やればできるのに怠けている」などと解釈し、本人の自己評価の低さや孤立感に気づかない。
- 二次的な情緒や行動の問題を生じやすい。

「ニューロダイバーシティ」モデルにもとづく支援のイメージ

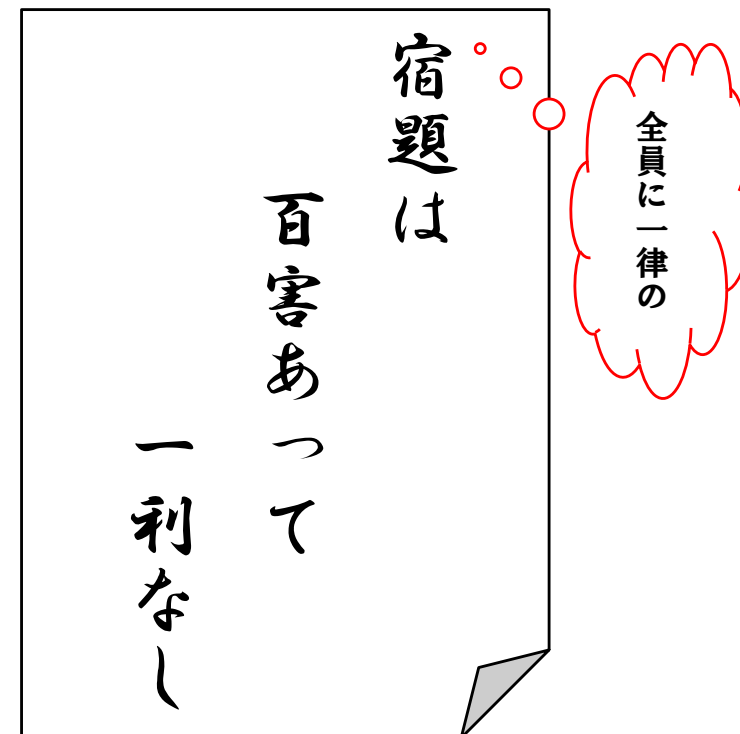
社会的少数者の社会参加促進

- ストレスや逆境体験に晒されることの予防
- 生じてしまったストレス因関連障害への対応
- 本人が持てる力を発揮して意欲的に社会参加するための支援

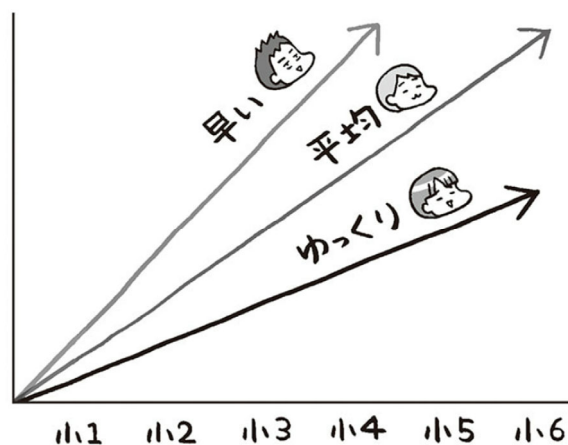
小学校の『入学のしおり』から

- 人に呼ばれたとき、「はい」とはっきりと返事ができる
- 人の話をしっかり聞ける
- 自分の名前や家族の名前が言える
- 自分の名前(ひらがな)を読むことができる
- 自分で身の回りの始末をすることができる
- 自分で洋服を脱いだり着たりすることや、脱いだものをたたむことができる
- はしやスプーンを使って、自分で食事ができる
- 排泄の始末ができる

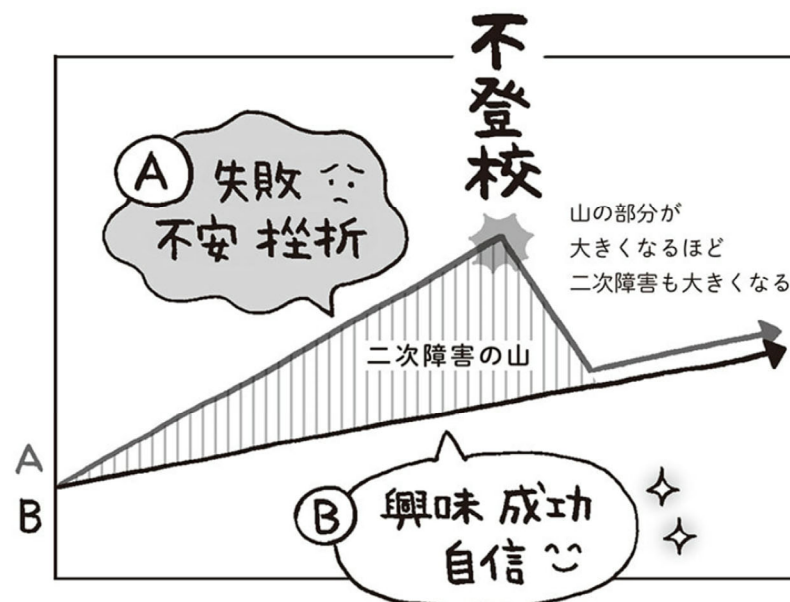
本田秀夫
(62歳・男性／長野県)



子どものペースは人それぞれ



無理をすると「二次障害の山」が大きくなる



知的障害・境界知能の子育ては 「早く」と「ゆっくり」

「早く」気づいて

「ゆっくり」育てる

支援は「早く」、そして「ゆっくりと」

~~早期発見, 早期訓練~~



早期発見, 早期ブレーキ

「せめてこれくらい」はNGワード！

- 「もう〇年生なんだから」
- 「高校くらい出ておかないと」
- 「自分がやりたいと言ったんだから・・・」

自己肯定感

健康的な自己肯定感は、

子どもの達成度が親や教師の期待を

上回ったときにしか育たない

ADHD:支援の目標

「コツコツ」よりも「一発勝負」

「前もって」よりも「ギリギリセーフ」

「姿勢」よりも「傾聴」

やればできる！

周囲の視点

・・・だから普段からちゃんとやってほしい

本人の視点

・・・だから普段はやらなくてもいい

理解するポイント

「できないこと」「いやなこと」よりも

「できること」「好きなこと」を重点的に

理解しよう



物並べ (3歳女兒)



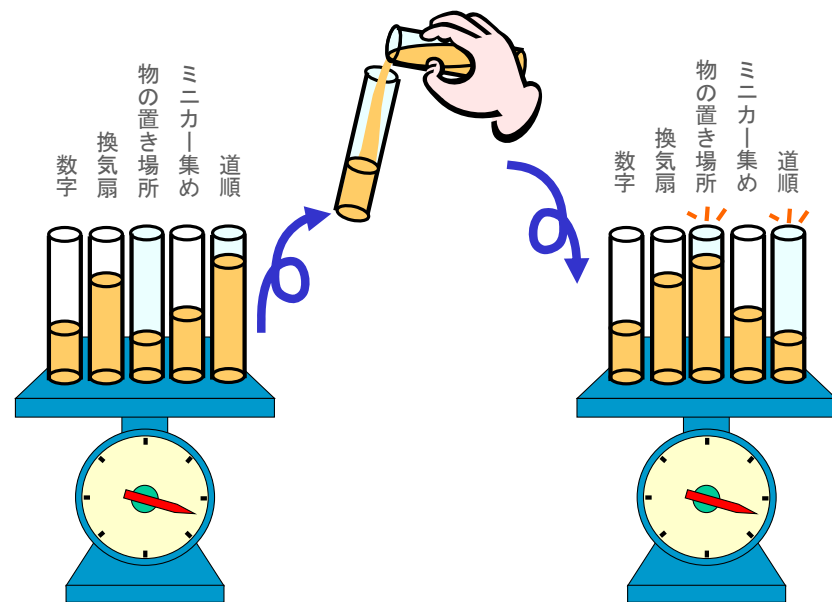
6歳になると...



放っておいてよいこだわり

安全である

他者に侵襲的でない



'こだわり' 保存の法則

こだわりが軽減するのは

飽きたときか、諦めたとき



変更することに強い抵抗感を示す

- なるべく決定したことを後から変更せずにするように、決定は慎重に
- どうしても変更せざるを得ない場合には、書面で説明すると納得が得られやすい

カンシャク、興奮への対応

とにかく、予防が一番！

起こってしまったら、

何もしないでおさまるのを待つ！

本当の自立とは？

自己決定力(自律スキル)

自分でできることとできないことを判断できる

相談力(ソーシャルスキル)

できないことについて他の人に援助を求める



自己決定力と相談力を育てる 「合意形成」の習慣

- わかりやすい「提案」
- 十分理解した上での「自己決定」
- 同意すれば「合意形成」
- 同意できない場合は「相談」

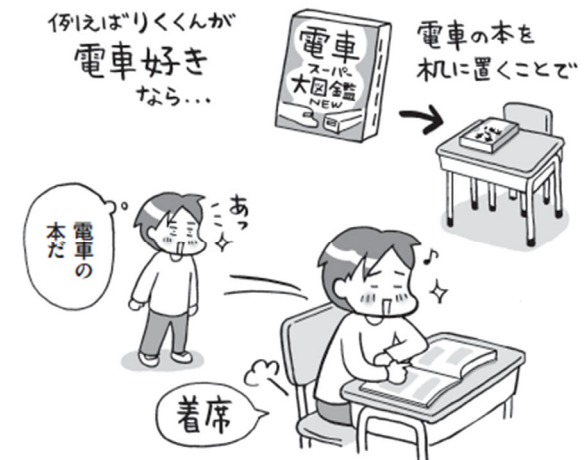
…視覚的構造化の目的は合意形成であって、
命令ではない！

視覚的構造化は成人期も必要

箇条書きなどにして、本人
にわかりやすい伝え方を



こうすれば、子どもは自発的に着席する



問題の予防にも視覚的構造化！

例えば スイッチにカバーをつける



手作りカバーでスイッチを見えなくする



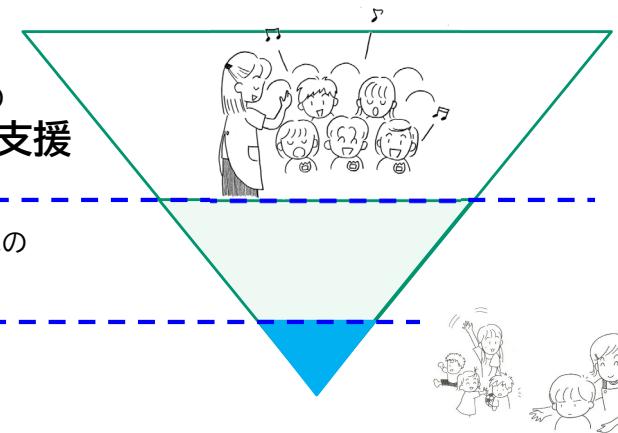
「マンガでわかる 発達障害の子どもたち - 自閉スペクトラムの不可解な行動には理由がある -」
本田秀夫 (著) フクチマミ (マンガ) SBクリエイティブ (2023年)

多層的な支援システム

子ども全員への
ユニバーサルな支援

気になる子どもへの
合理的配慮

特性に合わせた
個別支援



(本田・日戸による共作)

発達を考慮したユニバーサルデザイン

発達障害の人にわかりやすい環境は、

発達障害以外の人にもわかりやすい

みんながわかって
楽しく過ごせる
保育をめざして



ユニバーサルデザインの保育6のポイント

日常生活の中で視覚支援や環境の構成などの配慮を行うことで、すべての子どもが集中して活動することができるようになります。
各園の実践事例を、ユニバーサルデザインの視点でまとめました。

- | | |
|----------|-------------|
| 1 場の構造化 | 4 生活の見通し |
| 2 刺激への配慮 | 5 指示の出し方 |
| 3 ルールの確立 | 6 集中・注目のさせ方 |

子どもたちの実態に合わせて工夫・改善して活用することにより、みんながわかって、楽しく過ごせる保育を、みんなをめざしましょう。

小野市教育委員会

1 場の構造化

片付け・整理整頓のための工夫
自分で分類して片付けができるように、片づけの仕方をカードで示すことで、道具の仕分けを一目で確認することができる。また、片付けの時間が短縮でき、次の活動の時間が確保できます。

前扉や場所が視覚的にわかる工夫
マークを見て持物のある所、片付けの所が分かり、整理整頓をしやすいするために、ロッカーのカゴ、エプロン入れ、靴箱、タオルかけ等に関しマークと名前を、見ただけで分かるように明確に表示しましょう。

2 刺激への配慮

視覚刺激を軽減する工夫
集中しやすく、落ち着いて学習に取り組みやすい環境にするには、パーティションを置いたり、遊具が見えないように裏返すという工夫をしたりして、教室の目障りとなる視覚刺激の量を少なくしましょう。

集中して活動できる場所の工夫
刺激が入らず集中できるように窓際に机を置いて、全体が見える位置なので、自分のタイミングで集団活動に参加できます。対象物と視線が同じ位置になり、手先が見えやすくなります。

(https://www.city.ono.hyogo.jp/user/filer_public/4e/59/4e5976cf-7dc4-4fdb-bbd3-cead88ce061c/udbao-yu-handobutsuku.pdf)

3 ルールの確立

座る位置が視覚的にわかる工夫
安定して座ることができるよう、自分の座る場所を分かりやすく示しています。座る場所をテープで示すことで、自分の場所を確認しながらルールを覚える。ルールは、集団生活において適切な行動を示し、具体的などのように振る舞えばよいか教えてくれます。

声の大きさを調整する工夫
教室でのルールを事前にわかりやすく示し、みんなで共有する手立てとして「声の大きさ」を表示し、クラス名の生き物で表すことでルールを意識しやすくしています。また、「指の大きさ」を使って声量のコントロールができるようにしています。

4 生活の見通し

1日の予定が視覚的にわかる工夫
1日の予定をわかりやすく示している。子どもたちが主体的に判断し、意欲を持って行動するためには、生活の見通しが持てることが重要。終わったものとこれから持っていくものを各自の袋に分け、先生の職カードが、今を表しています。

番替えの手順がわかる工夫
「これから何をすればいいの」「自分は今、何に向かってるのか」を視覚的にわかりやすく示すことが大切になります。番替えの流れを、事前に確認することで、落ち着いて活動ができます。

5 指示の出し方

わかりやすい指示の出し方
① 話しの前に、注意を喚起する。
② 視覚的な情報として、時計と絵カードを見せ、具体的に簡潔な言葉で、次の行動を知らせませす。
③ 「しっかり」「ちゃんと」などの曖昧な言い回しは避け、具体的に話します。

視覚情報を活用した指示の出し方
でき上がりをイメージ化した後、使いたい色画用紙を選ばせます。絵や実物を見せ、手順を示すことで、子どもたちが大切な要点を整理して聞くことができます。

6 集中・注目のさせ方

興味を引きつける教材の工夫
遊びを自分たちで考えたり工夫したりで遊ぶように、様々な色や太さの毛糸を準備している。毛糸が絡まらないよう、そして色や太さがよく見えるように、ペットボトルの毛糸玉入れを使用することで、活動しやすくなります。

座る姿勢を保持させる工夫
椅子にシールを貼ると、自分の椅子がわかりやすくなります。靴型を下に貼ることで、正しい姿勢で座ることができます。手の位置、姿勢、話し手に体を向けるなどルール化することで、間違えをなくし、話に集中することができます。「聞く姿勢」を育てることが大切です。

(https://www.city.ono.hyogo.jp/user/filer_public/4e/59/4e5976cf-7dc4-4fdb-bbd3-cead88ce061c/udbao-yu-handobutsuku.pdf)

合理的配慮

当事者が自分のハンディキャップを開示し、配慮を求めた場合には、学校・事業所はその人が参加できるように過重な負担のない範囲で配慮する義務があると「障害者差別解消法」で定められている。

そのような配慮のことを「合理的配慮」という。

「しなくていいこと」を決める

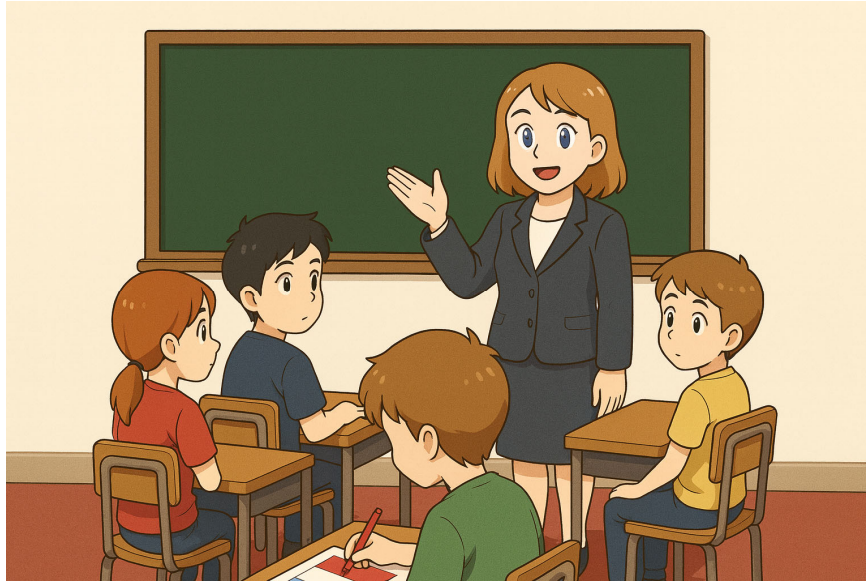
ASDの場合

- あいさつ、雑談
- 気配り、付度
- 周りに合わせること

ADHDの場合

- 時間厳守
- 日々の積み重ね
- 良い姿勢

英国の子どものエピソード

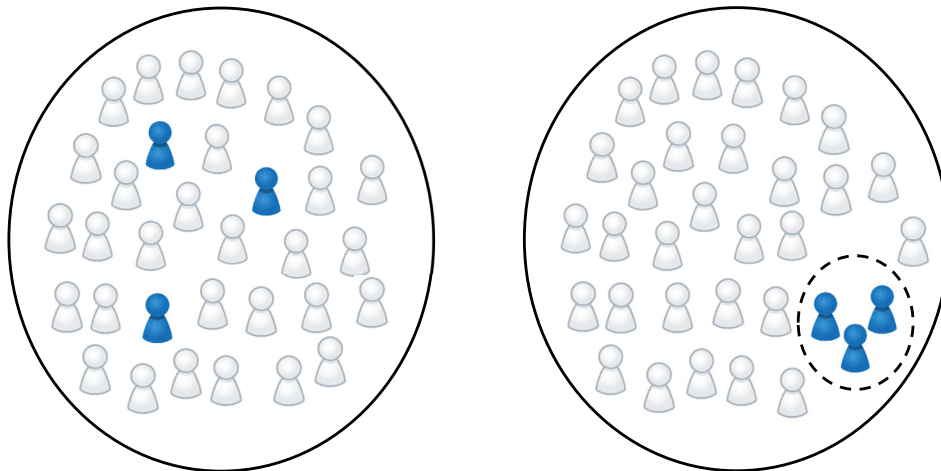


少数派の学習や交流の場の保障

一般の人たちとは異なる独自の学習や交流

- 最も大事なものは「**自立活動**」
手話や点字の学習
知的障害に対する教科学習・生活学習
- 当事者同士の仲間づくり

インクルーシブかつアイデンティティの保障されたコミュニティづくり



分散型

ネスティング

(本田ら, 2009)

共通の認知発達と興味に沿ったクラス分け

歌、感覚遊び
幾何学模様

なまえ	年齢	知的障害
Kちゃん	5さい	重度
Hくん	5さい	重度
Rくん	4さい	重度
Kくん	4さい	重度
Sくん	4さい	中度

形態
重点課題
構造化
情報呈示
集団活動

個別>集団
日常生活動作の繰り返し
感覚入力 of 統制
実物、身振り
パネルシアター



共通の認知発達と興味に沿ったクラス分け

キャラクター、表、当番
お絵かき、文字、数字

なまえ	年齢	知的障害
Hちゃん	5さい	境界
Kくん	5さい	境界
Rくん	5さい	境界
Yくん	5さい	境界
Nくん	5さい	境界
Yくん	5さい	境界
Tくん	5さい	境界

形態

重点課題

構造化

情報呈示

集団活動

個別+集団

ルール理解と遵守

日課やルールの伝達

絵、文字、言語

役割遊び、係活動



子どもへの親の願い、成人期の本人の気持ち

親によくみられる就学時の願い

定型発達の子どもたちが周りにたくさんいると、
いい刺激を受けるのではないか。

成人期にしばしば聞かれる本人の気持ち

自分だけ他の人たちとは違うという感覚を毎日
感じていた。

「仲間づくり」のきっかけづくり

思春期以前

- 仲間をつくることは「目的」というより「結果」
- 興味のある活動を共にするうちに、結果として仲間ができる

青年期以降

- 同じ感性の仲間が欲しい
- 「あるある話」で盛り上がりたい

特定非営利活動法人
NEST JAPAN
ネスト・ジャパン

(<https://www.nest-japan.org/>)

余暇活動 押し活部☆
押し活部☆
皆さんの推しを紹介してもらったり（信者増えるかも）、推しについての愛を思う存分語ってもらいます！
推しは二次元、2,500円、三次元、どのroomのみの活動です。

余暇活動 モデルクラフト
MODEL CRAFT
モデルクラフト

余暇活動 鉄道ジオラマをつくろう@ネスト・ジャパン
でこぼこ囲碁
鉄道ジオラマをつくろう

余暇活動 アニメ・漫画クラブ
アニメ・漫画
クラブ

余暇活動 恐竜サークル
恐竜サークル

余暇活動 鉄友会
鉄友会
TETSU TOMO KAI

できるだけ早い時期からサードプレイスを！

第一(家庭), 第二(園や学校)の居場所に加えて, 居心地のよい第三の場所(サードプレイス)を探しておきましょう。

子ども, 教師, 保護者の関係



家族関係は良好に

- 一緒に活動して楽しむ
- 子どもに自由な選択と決定の保障を
- 保護者は情報は提供するが, 助言はしない

保護者や教師以外の相談相手も, 時に必要

教師と保護者は密に連携を

- 保護者は子どもの様子を学校に伝える
- 可能であれば教師は子どもの助言者に
- 教師は子どもが興味をもてる活動の提案を



・・・進路選択の時期までに, この体制ができているのが理想！

参考図書

専門家向け

「アスペルガー症候群のある子どものための 新 キャリア教育
- 小・中学生のいま, 家庭と学校でできること -」

本田秀夫, 日戸由刈(編著) 金子書房(2013年)

「子どもから大人への発達精神医学 - 自閉症スペクトラム・
ADHD・知的障害の基礎と実践」

本田秀夫(著) 金剛出版(2013年)

「発達障害の早期発見・早期療育・親支援」

本田秀夫(編著) 金子書房(2016年)

「知的障害・発達障害のある子どもの住まいの工夫ガイドブック
- 危ない! 困った! を安全・安心に -」

西村顕, 本田秀夫(著) 中央法規(2016年)



参考図書

専門家向け

「知ってほしい 乳幼児から大人までのADHD・ASD・LD ライフサイクルに沿った
発達障害支援ガイドブック」

齊藤万比古, 小枝達也, 本田秀夫(編集) 診断と治療社(2017年)

「こころの医学入門: 医療・保健・福祉・心理専門職をめざす人のために」

近藤直司, 田中康雄, 本田秀夫(編集) 中央法規(2017年)

「自閉スペクトラム症の理解と支援 - 子どもから大人までの発達障害の臨床
経験から」

本田秀夫(著) 星和書店(2017年)

「おとなの自閉スペクトラム - メンタルヘルスケアガイド」

本田秀夫(監修), 大島郁葉(編集) 金剛出版(2022年)



参考図書

専門家向け

「講座 精神疾患の臨床9巻:神経発達症群」
本田秀夫(編集) 中山書店 (2024年)



「新訂増補 子どもから大人への発達障がい精神医学－神経発達症の理解と支援－」
本田秀夫(著) 金剛出版 (2025年)



「はじめてまなぶ自閉スペクトラム症－診断から実践へ－」
本田秀夫(著) 金剛出版 (2025年)



「神経発達症の理解と支援－基礎から学び、実践に活かす－」
本田秀夫(編著) 金子書房 (2025年)



参考図書

一般向け

「自閉症スペクトラム－10人に1人が抱える「生きづらさ」の正体－」
本田秀夫(著) SB新書 (2013年)



「自閉症スペクトラムがよくわかる本」
本田秀夫(監修) 講談社 (2015年)



「大人の自閉症スペクトラム」(DVDセット全3巻)
本田秀夫(監修) NHK厚生文化事業団 (2016年)



「なぜアーティストは生きづらいのか？－個性的すぎる才能の活かし方－」
手島将彦, 本田秀夫(著) リットーミュージック (2016年)



参考図書

一般向け

「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本－幼児・小学生編」
本田秀夫, 日戸由刈(監修) 講談社 (2016年)



「自閉症スペクトラムの子のソーシャルスキルを育てる本－思春期編」
本田秀夫, 日戸由刈(監修) 講談社 (2016年)



「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」
本田秀夫, 日戸由刈(監修) 講談社 (2017年)



「ひとりひとりの個性を大事にする にじいろ子育て」
本田秀夫 講談社 (2018年)



参考図書

一般向け

「発達障害がよくわかる本」
本田秀夫(監修) 講談社 (2018年)



「発達障害－生きづらさを抱える少数派の「種族」たち－」
本田秀夫(著) SB新書 (2018年)



「最新図解 女性の発達障害サポートブック」
本田秀夫, 植田みおり(著) ナツメ社 (2019年)



「あなたの隣の発達障害」
本田秀夫(著) 小学館 (2019年)



参考図書

一般向け

「『しなくていいこと』を決めると、人生が一気にラクになるー精神科医が教える『生きづらさ』を減らすコツー」

本田秀夫(著) ダイヤモンド社 (2021年)



「子どもの発達障害ー子育てで大切なこと、やってはいけないことー」

本田秀夫(著) SB新書 (2021年)



「学校の中の発達障害ー「多数派」「標準」「友達」に合わせられない子どもたちー」

本田秀夫(著) SB新書 (2022年)



「10代からのメンタルケア『みんなと違う』自分を大切にする方法」

本田秀夫(著) KADOKAWA (2023年)



参考図書

一般向け

「マンガでわかる 発達障害の子どもたちー自閉スペクトラムの不可解な行動には理由があるー」

本田秀夫(著) フクチマミ(マンガ) SBクリエイティブ (2023年)



「知的障害と発達障害の子どもたち」

本田秀夫(著) SBクリエイティブ (2024年)



「発達障害の子どもの育ちを支える」(福祉ビデオシリーズ)

本田秀夫(監修) NHK厚生文化事業団 (2024年)



「発達障害・『グレーゾーン』の子の不登校大全」

本田秀夫(著) バトン社 (2025年)



参考図書

一般向け

「最新 マンガでわかるADHDの子どもたち」

本田秀夫(著) フクチマミ(マンガ) バトン社 (2026年)



「個性的で心豊かな大人に育てる にじいろ子育て」

本田秀夫(著) 金剛出版 (2026年)



参考図書

一般向け

「児童精神科医が語る あらためてきちんと知りたい発達障害」

篠山大明(著) 慶応義塾大学出版会 (2023年)



「かがやけ！なないろキッズー発達障害すくすくサポートアドバイス」

新美妙美(著) 信濃毎日新聞社 (2022年)



法人・事業所向け

「発達障害ー職場における理解と支援ー」

本田秀夫(監修) ライズファクトリー (2020年)

